



退官にあたって

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-07-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 山口, 富夫 メールアドレス: 所属:
URL	https://hokkyodai.repo.nii.ac.jp/records/9290



退官にあたって

山口 富夫

昭和43年4月に教大岩見沢分校に赴任したが、従来の学芸大学が東京学芸大を除き教育大学と改称して1、2年たったころであった。キャンパスに入って正面にある4階建の校舎は最も大きくその最上階の1室を与えられたがその窓からは古い2階建の図書分室を含む旧校舎を見おろし、いま芝生になっているところには理髪所、食堂などが離れて建っていた。大きな校舎の南側は、鬱蒼たる森林地帯であったと記憶している。

豊かな樹木も取り払われていずれかにとりさられて新しい校舎や食堂その他、部活動用の建物、温室、駐車場などに変わったが、昔からの岩見沢校の雰囲気は失われずに残っていると思う。大学改革が騒然としている中で、岩見沢校は独自の存在を保って21世紀に残ってもらいたいものと切に願う次第である。